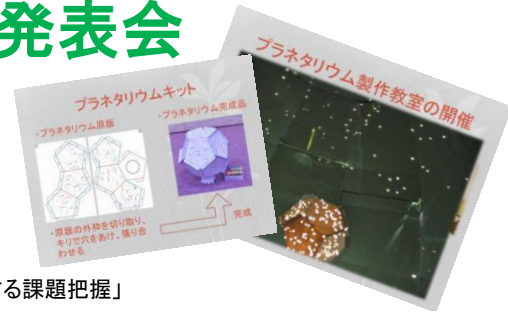


# 2013年度 地域協働成果発表会

## ●発表会プログラム

1. 開 会
2. COC推進本部長あいさつ 代理 松本副本部長
3. 発表・質疑応答
  - 竹 井 トピックゼミ 「廃棄物のリサイクルの課題と対策」
  - 伊 藤(始) トピックゼミ 「富山市における橋梁の老朽化維持管理に関する課題把握」
  - 松 本(公) トピックゼミ 「プラネタリウム工作教室の実施」
  - 奥 田 トピックゼミ 「新幹線開業後の富山の観光」
  - 中 村(清) トピックゼミ 「新幹線開業に伴う新高岡交通体系における提言」
  - 唐 山 トピックゼミ 「射水市活性化案」
  - 岩 本 専 門 ゼ ミ 「南砺市の協働のまちづくりを推進する取り組みについて」
4. 全体質疑応答
5. 講 評 奥田COC推進副本部長
6. 閉 会



1月24日、「COCトピックゼミ」専門ゼミ地域協働成果発表会」が開かれ、学生が地域の課題を発表し、解決策などを提言しました。

発表学生は10月からトピックゼミや専門ゼミで、地域関係者との対話を通じた授業に取り組んできました。

発表学生も含め、発表会に参加した学生は約100名、その他地域関係者も参加しました。

発表では、観光客誘致のためのSNSの活用、橋梁の老朽化維持管理では「着ぐるみ点検者」による市民のイメージアップといったユニークな提案が出ました。

参加した地域関係者の方々からも質問が挙がり、大変活気のある場となりました。

今年度の授業は2月で終わるが、今後も学生には是非継続的に今回取って組んだテーマに係わっていただきたいと思います。

●今回の地域協働科目の受講及び発表会を通して、自分なりに成長したなと感じる点は？

自分の思っていることを伝える力がついたと思います。発表の前に先生にみてもらったのは一度だけでしたが、何をいいたいかを考えながら発表の練習をしていました。

●地域協働科目を受講して感じた座学とは異なるメリットは何ですか？

正に百聞は一見にしかずで、実際に見て分かったり、見て教えられたりして気づくことが大きいと感じました。教養ゼミで富山駅構内を見学した際は、お土産が少ないという課題に気づくことができ、今回の発表である富山の食材を活かした「新幹線開業後の富山の観光」に繋がりました。

●他のゼミの発表でもおもしろいと感じた発表は？

三年生の岩本ゼミです。会場の人々と対話しているような発表で、スラスラと言っていたのがすごいなと思いました。今後、プレゼンの方法をお手本にしていきたいです。

●発表をする時、工夫していた点は？

発表の際は自分の父を参考にしました。父は見知らぬ人とも雑談するのが上手で、そんな父を尊敬しています。プレゼンではそんな父を参考に、人に語りかけるようなところにかけていました。実際、プレゼンの原稿は考えず、何を言いたいのか思い出しながら発表しました。



学生インタビュー  
地域協働成果発表会での発表を終えた  
知能デザイン学科2年生  
河村知侑さん